

川崎市議会議員

# 本間 賢次郎

市政レポート No. 5 (平成 30 年 5 月号)

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17  
TEL044-742-8072 FAX044-211-1081

## ごあいさつ

平成 30 年度も一か月が過ぎました。新生活のお疲れも出てくる頃かと思いますので、くれぐれもご自愛ください。

さて、私は今年度、文教委員会に所属し、教育、文化事業、子ども・若者支援、市民生活に関わるさまざまな課題に臨んで参ります。また、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを契機とした取り組み「かわさきパラムーブメント」の推進についても、所管致します。市民生活の一層の向上に向け、そして、持続可能なまちづくりに向けて努力を重ねて参ります。



## 川崎区における市民館機能のあり方について

去る 4 月 13 日に開かれた文教委員会において、「川崎区における市民館機能のあり方について」を議題に行政から説明があり、各委員から質問を行いました。

地元・川崎区では教育文化会館が市民館としての役割を果たしてきましたが、同施設は築 50 年が経過し、老朽化が著しい状況です。そうした中で、行政では市民館機能の再編整備について検討が進められています。昨年 10 月にスポーツ・文化総合センター「カルッツかわさき」がオープンし、現在の教育文化会館には大ホール以外の市民館機能が残されています。そして、既存施設への移転に向けて調査が行われ、労働会館「サンピアンかわさき」の一部を改修し、機能を移すこととなります。多種多様な学びや活動の場として、市民館機能は区民・市民にとって大変重要な施設です。

ので、利用しやすい環境の整備を今後も求めて参ります。

#### <川崎区における市民館機能のポイント>

・教育文化会館は、昭和 42 年に産業展示場や博物館・美術展示場の機能を併せ持った産業文化会館として設置された経緯から他区の市民館に比べ会議室・教養室等の種類が異なり、諸室の数も他区の市民館に比べ多くなっている。

・教育文化会館の大ホール機能については、昨年 10 月に開館したスポーツ・文化総合センターに機能が移転し、大ホールは平成 30 年 3 月 31 日をもって閉鎖した。

・教育文化会館の会議室の使用目的が会議や研修等に限らず、ダンスやヨガ、太極拳等、多岐に渡っている。特に、6 階の大会議室（定員 300 名）はダンス・健康体操等での利用が 61%に及ぶ。

・労働会館の 1 階から 3 階へ市民館機能に移転する。

・教育文化会館跡地について、富士見中学校の教育環境の向上に活用する検討が可能となる。

#### <今後の課題>

・移転先の労働会館も 40 年近い築年数であり、近い内に老朽化の課題と向き合わなくてはならない。そのため、一部の改修で充分とは言い難く、安全性の確保等の課題がある。

・教育文化会館 6 階の大会議室と同程度の規模の会議室の設置は難しいとの調査結果に基づき、300 名規模の社会教育振興事業等で必要な場合には、労働会館ホールの利用等も見込めるとの見解が示された。しかし、300 名規模の活動に対して労働会館ホールの定員は 700 名を超えており、利用者の意向に必ずしもマッチングするとは考えにくい。利用者の目的に即した施設・設備の確保についてより丁寧に検討する必要がある。